

はじめに

日本人は英語の読み書きと文法には強いが、話せないとよく言われます。確かに文法は得意な方でしょう。しかし、最近では文法力の低下が問題にされることも多く、文法教育の必要性が見直されているのも事実です。

本書は、中学校や高等学校で学習した英語の文法の復習をしつつ、英語の基礎を整理し、聴き、話し、読み、書くことを練習します。単に文法の知識を深めるのではなく、英語を実際に使えるようにするのが目的です。最小限の英文法の復習をし、英語の運用を中心にした学習をしながら、英語が使えるようになることを目指しています。

英文法の多くのテキストや解説書には、難しい説明があったり、無味乾燥で、ほとんど実際に使用されない英文が列挙されています。本書では、説明は容易な最小限度のものにとどめ、基本的ですが、実際に使用されている英文を集めています。内容も英米の文化や生活を紹介するものを多くし、意味のある内容にしています。会話は起こり得る状況をできるだけ再現しました。話す練習や書く練習では、自分自身、家族、趣味、スポーツ、大学、ホームタウン、日本文化などを表現することを学びます。

各課では、最初に容易な練習問題を設け、その課の要点がわかるようにしています。さらにその要点を多くの例文を使用して、簡単に解説しています。その後にある **GRAMMAR REVIEW** で、その課の文法の要点の理解を確かめます。**LISTENING** では、実際に起こり得る会話を聴き、内容を理解すると共に、文法項目の理解も確かめます。**SPEAKING** は、テープの質問に答えるもので、その課で学習した文法項目を理解した上で実際に発話できるかを試す実践の場です。**READING** は短い読み物を直読直解する練習です。その課で学習した文法項目がどのように実際の文章で使用されているかも確かめてください。**WRITING** は、その課の文法項目を使用して、英文を書くとともに、あるテーマにそって短いパラグラフを書く事を目指しています。

本書では、語彙と例文の選定については、よく使用されるものを可能な限り多く含め、また内容的にも偏りのないように工夫しました。この例文は、できるだけ暗記して、必要な時に自然に使用できるように学習すれば、日常や簡単なビジネスの英語はかなり使いこなせるようになります。

本書を利用して英語が使える人が多く出てくることを希望します。

2000年7月 京都にて
著者